

「つなぐ」プラットフォームが実現する ビジネスイノベーション ～コラボレーションで新たな価値を～

2010年5月20日

(株)NTTデータ 第一公共システム事業本部

吉田 尚之

はじめに

サービスを「つなぐ」ことの意味

- 業界に閉じた連携から、複数の業界や多様なプレイヤーとのコラボレーションを実現
- ワンストップの促進によりサービス利用者がより便利に！

新しいニーズ

「新しい価値」の創造！

新しいビジネス
モデル

「新しい価値」を支える技術

クラウドASP・SaaS、プラットフォーム



本日の内容

1 クラウドASP・SaaSの発展のために

システムの所有からサービス利用へ
そしてさらなる連携による新しい価値創造へ

2 NTTデータのこれまでの取り組み

自社にてプラットフォーム＝社会インフラを構築
お客様のインフラ構築支援

3 クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

実績を踏まえた当社のこれからの取組み

4 本日のまとめ

1

クラウドASP・SaaSの発展のために

2

NTTデータのこれまでの取り組み

3

クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

4

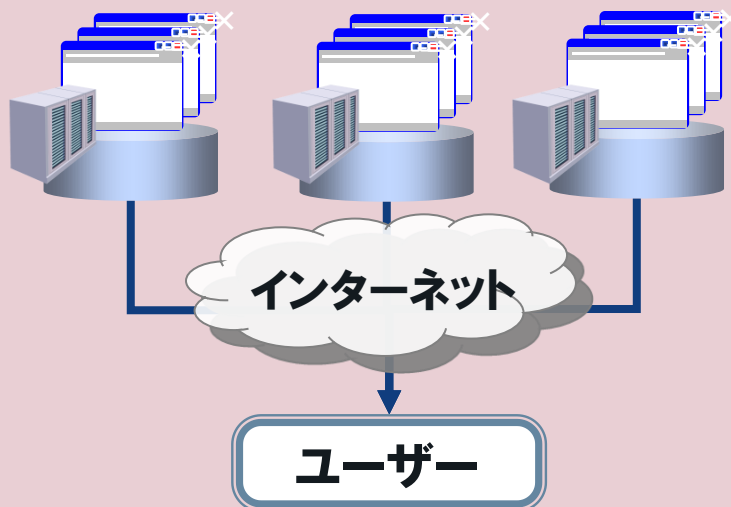
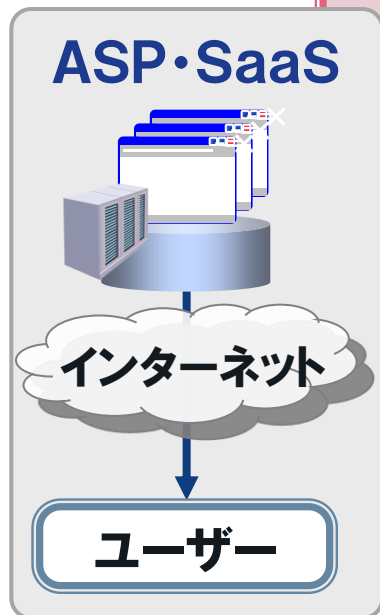
本日のまとめ

1. クラウドASP・SaaSの発展のために

クラウド ASP・SaaSの定義

クラウド（コンピューティング）
＝
「ASP※・SaaSの集合体」

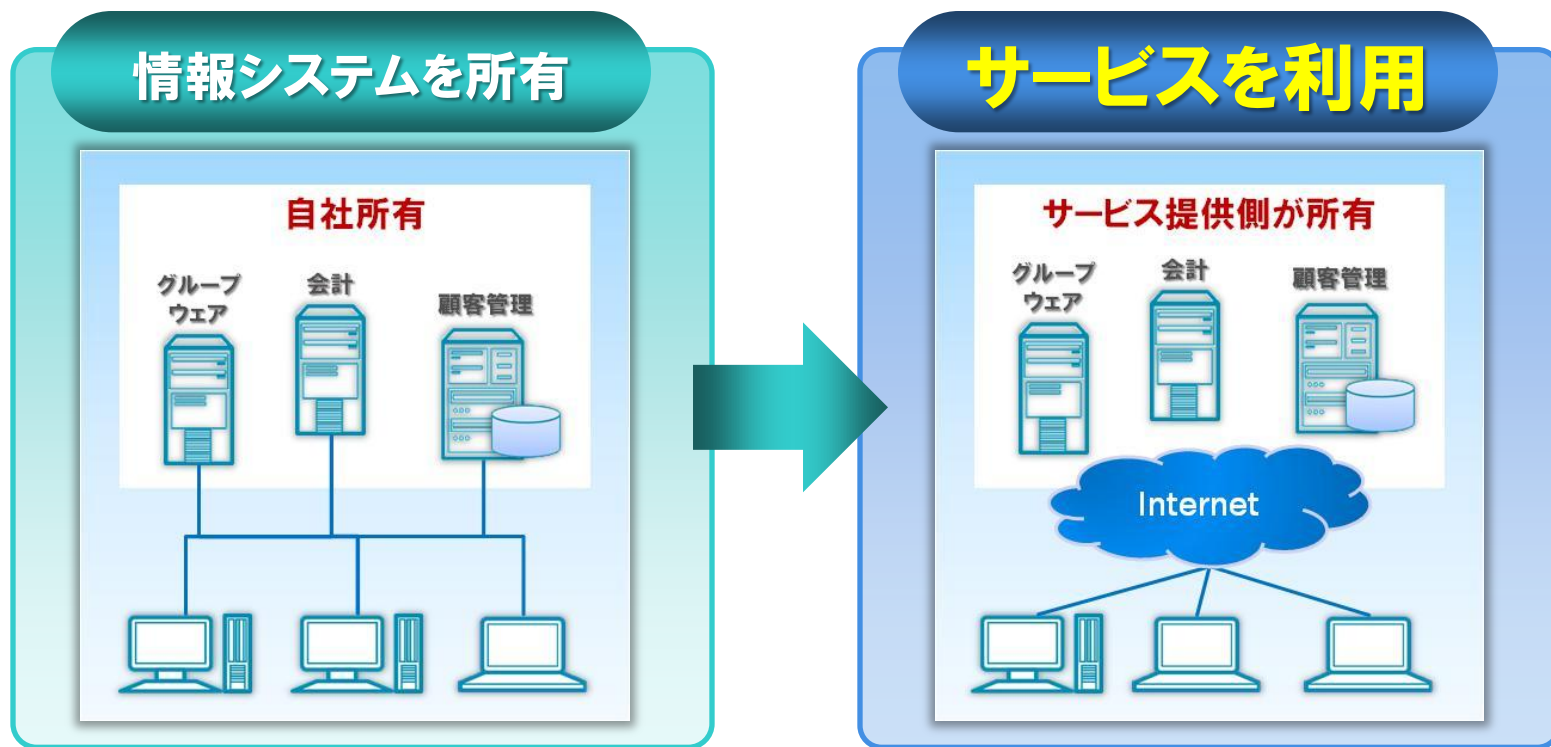
※ ASP:Application Service Provider



特定非営利活動法人ASP・SaaSインダストリー・コンソーシアム
(ASPIC)「ASP・SaaS白書2009/2010」より

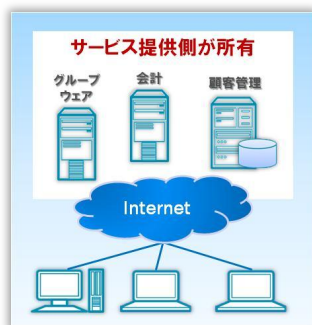
1. クラウドASP・SaaSの発展のために

クラウドASP・SaaSによる、
「システムの所有から、サービスの利用へ」
という流れ

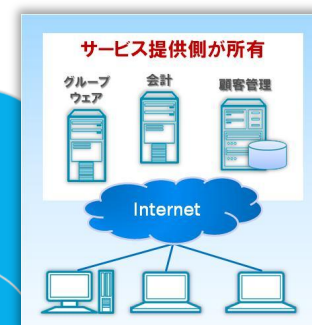


1. クラウドASP・SaaSの発展のために

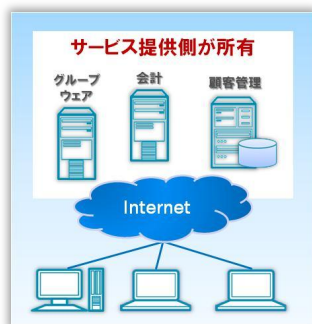
現在は、業界・分野単位での構築が主流



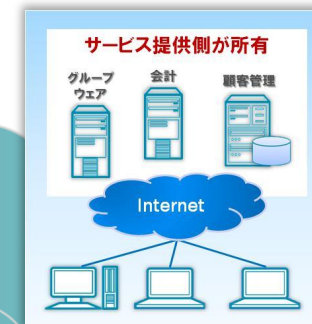
Public



Finance



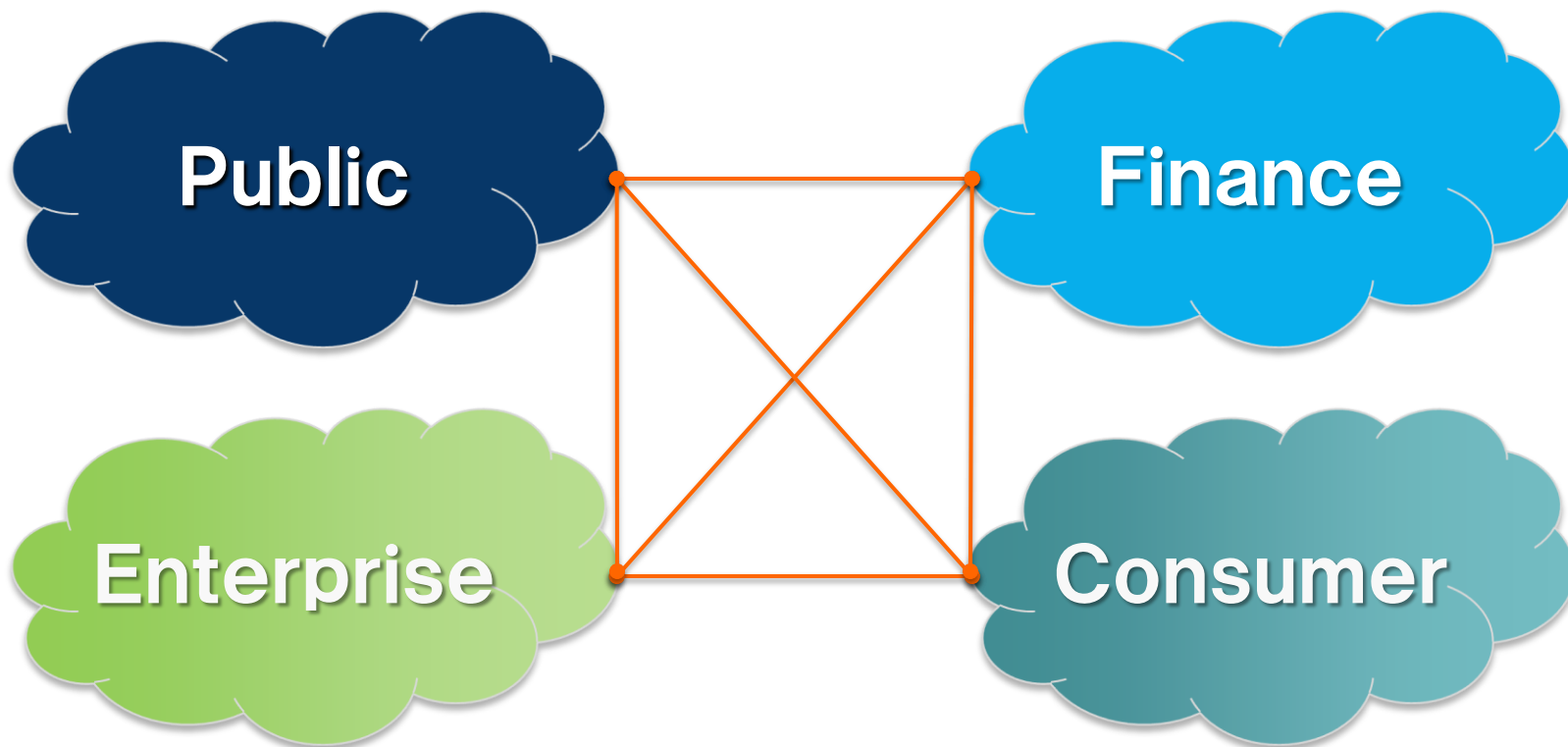
Enterprise



Consumer

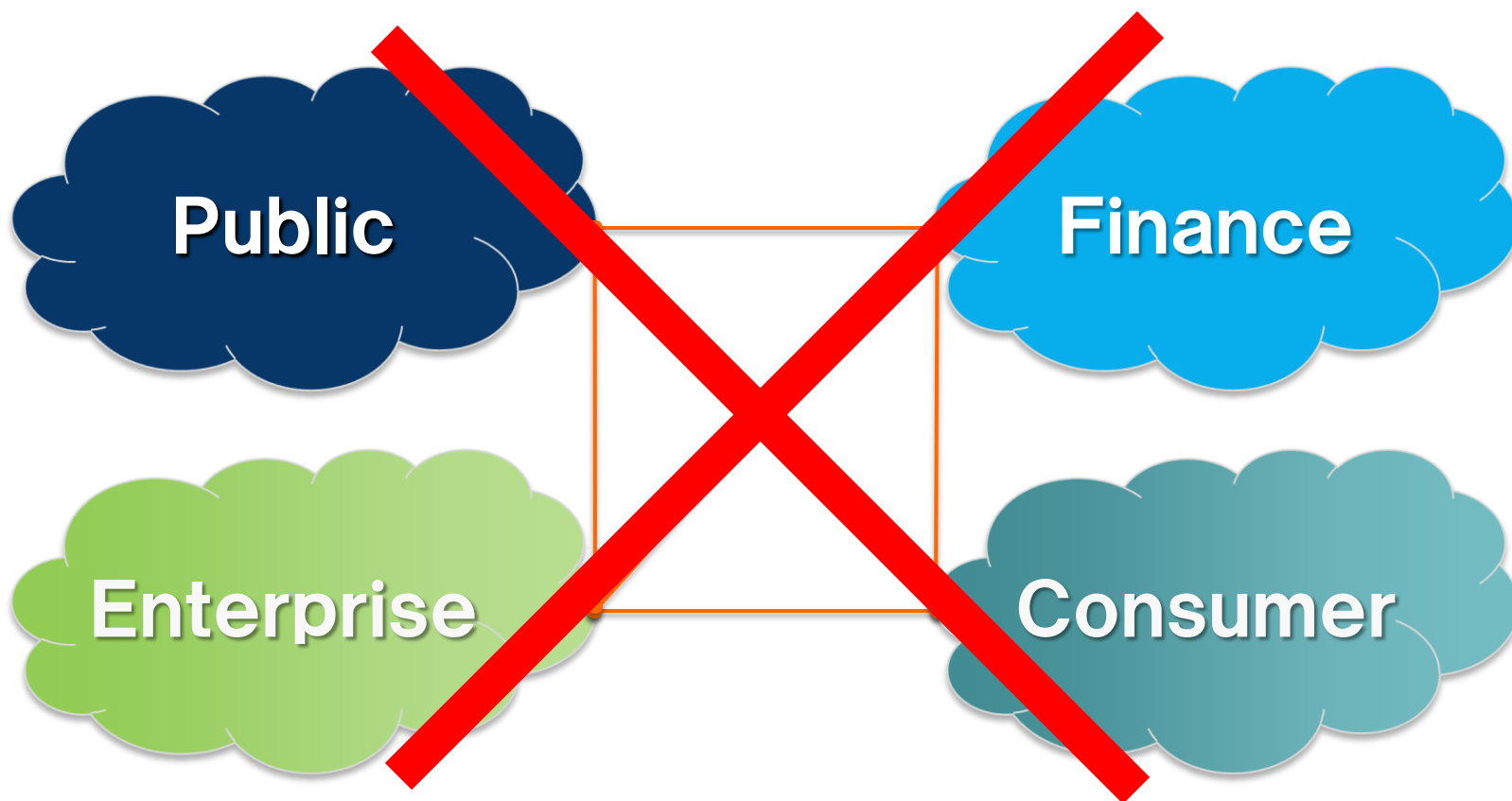
1. クラウドASP・SaaSの発展のために

複数業界が連携すれば、
さらに便利なサービスが実現できる



1. クラウドASP・SaaSの発展のために

しかし、
円滑な連携が実現するケースは少ない



1. クラウドASP・SaaSの発展のために

なぜ？



1. クラウドASP・SaaSの発展のために

業界毎に求められる「セキュリティ」「ルール」「業務」が異なることが、円滑な連携に対する障壁になっている。

重厚なセキュリティ環境
厳重な個人情報の取り扱い
地方分権へのダイナミックな変化・・・等

Public

セキュリティとコストのバランス
ミッションクリティカル
グローバルスタンダード・・・等

Finance

Enterprise

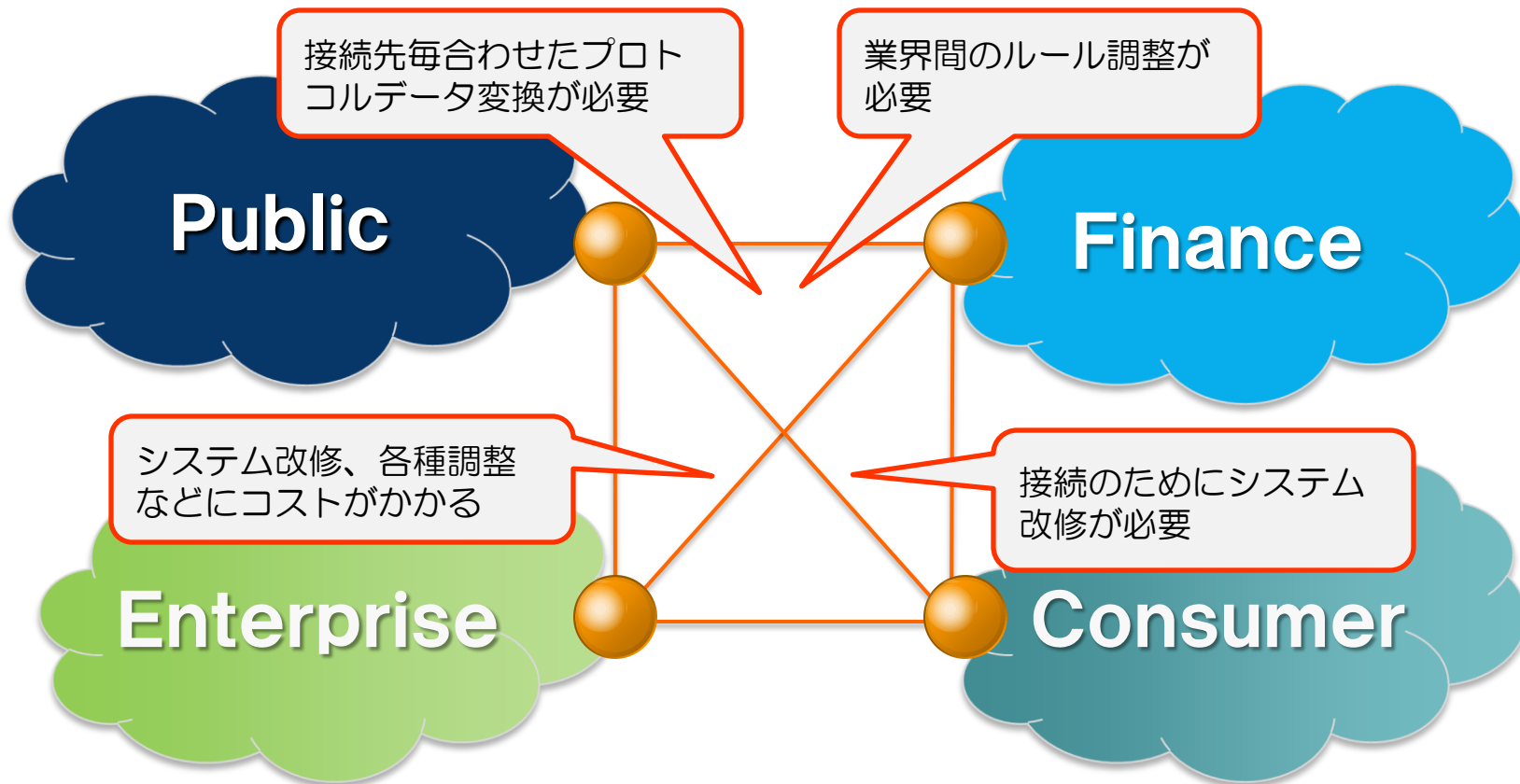
コスト削減
業界内外での競争
新興国の猛追・・・等

Consumer

安くて手軽がいい
情報セキュリティへの関心・・・等

1. クラウドASP・SaaSの発展のために

連携のためには・・・



1. クラウドASP・SaaSの発展のために



外に向かって「つなぐ」しくみが必要

連携のためには、課題が多く、
ダイナミックな異業種連携が進まない。

でも・・・

今後のサービスレベル向上、
新たな価値創造のためには、業界間連携は必要。

1. クラウドASP・SaaSの発展のために



各機関の独自サービスを、サービスハブに「つなぐ」



利用者には効率性や利便性を、
提供者にはコスト削減と新たなビジネスチャンスを実現

1. クラウドASP・SaaSの発展のために



異なる業界、分野のサービスが円滑に連携することで、
新しい価値、ビジネスイノベーションが生まれる！

サービスハブとなる仕組みを介することで
業界間連携をスムーズに実現。

サービスハブ機能より、
連携に必要なデータ変換、情報の選別等を行い、
各業界側の負担を減らして、相互連携を促進。

1 クラウドASP・SaaSの発展のために

2

NTTデータのこれまでの取り組み

3 クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

4 本日のまとめ

2. NTTデータのこれまでの取り組み

取組背景

電電公社、NTT時代から
数々の「社会インフラ」と呼ばれるプラット
フォームの構築に関わってきた。



2. NTTデータのこれまでの取り組み

具体例

◆ **カード決済総合ネットワークシステム
(CAFIS)**

◆ **金融機関連携システム**



2. NTTデータのこれまでの取り組み

カード決済総合ネットワークシステム CAFIS (キャフィス)

加盟店 約1,300社

- 百貨店
- ショッピングセンター
- ホテル・旅館など
- 各種サービス業流通事業者
- 全国チェーン店本部など
- 専門店・飲食店



月間トランザクション
約2億3000万件

カード会社 約120社

- 銀行系クレジット会社
- 信販系クレジット会社
- 流通系クレジットカード会社
- メーカー系クレジットカード会社
- 日専連・日商連
- 消費者金融会社

金融機関 約1,600社

- 銀行
- 信用金庫
- 郵貯
- 信用組合

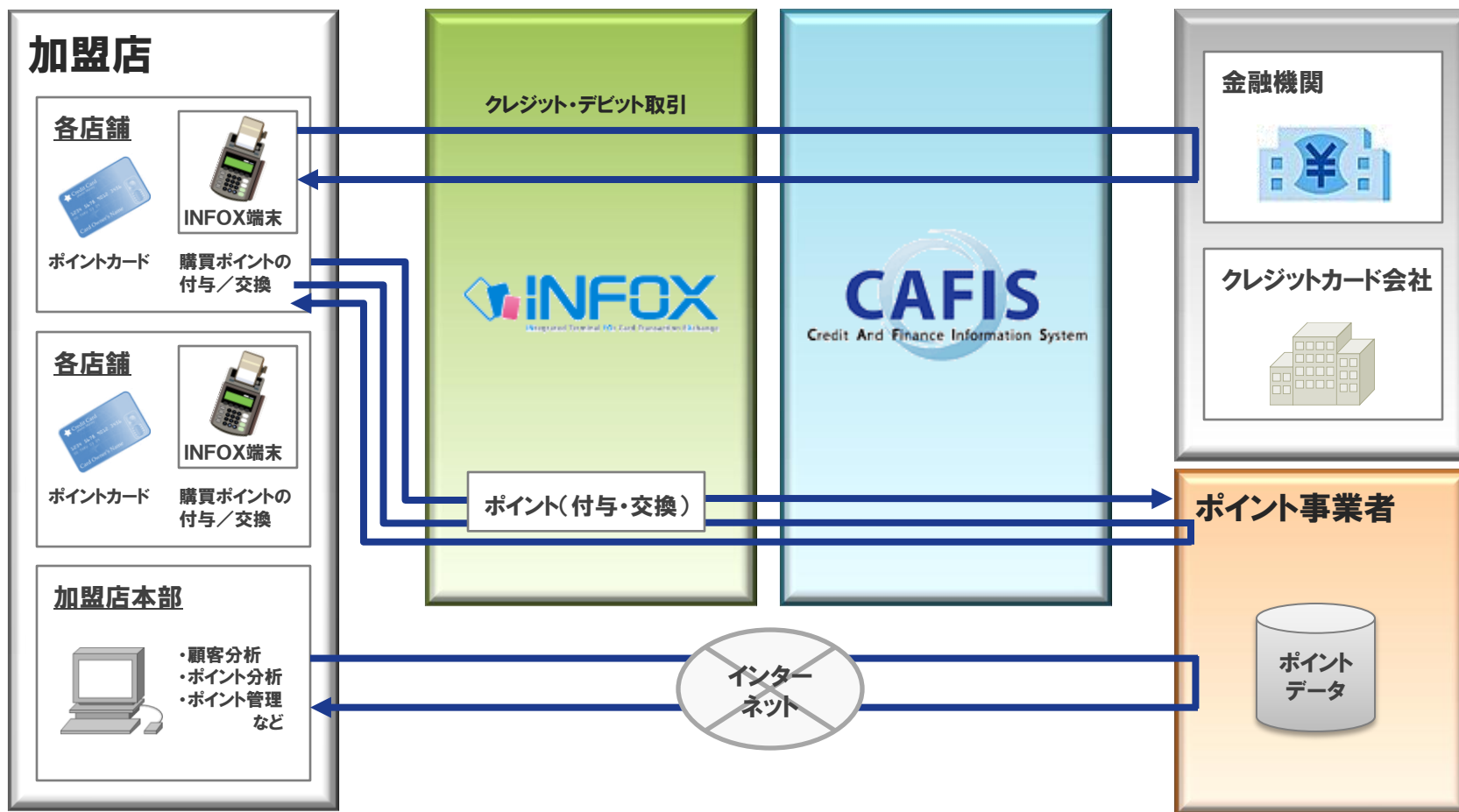
CAFIS(Credit And Finance Information System):

全国の店舗・企業とクレジットカード会社・金融機関をネットワークでつなぎ、カード取引を処理する利用者数・取引量ともに日本で最大のカード決済総合サービス

<http://solution.cafis.jp/>

2. NTTデータのこれまでの取り組み

CAFISの応用例 – INFOXポイントサービス –

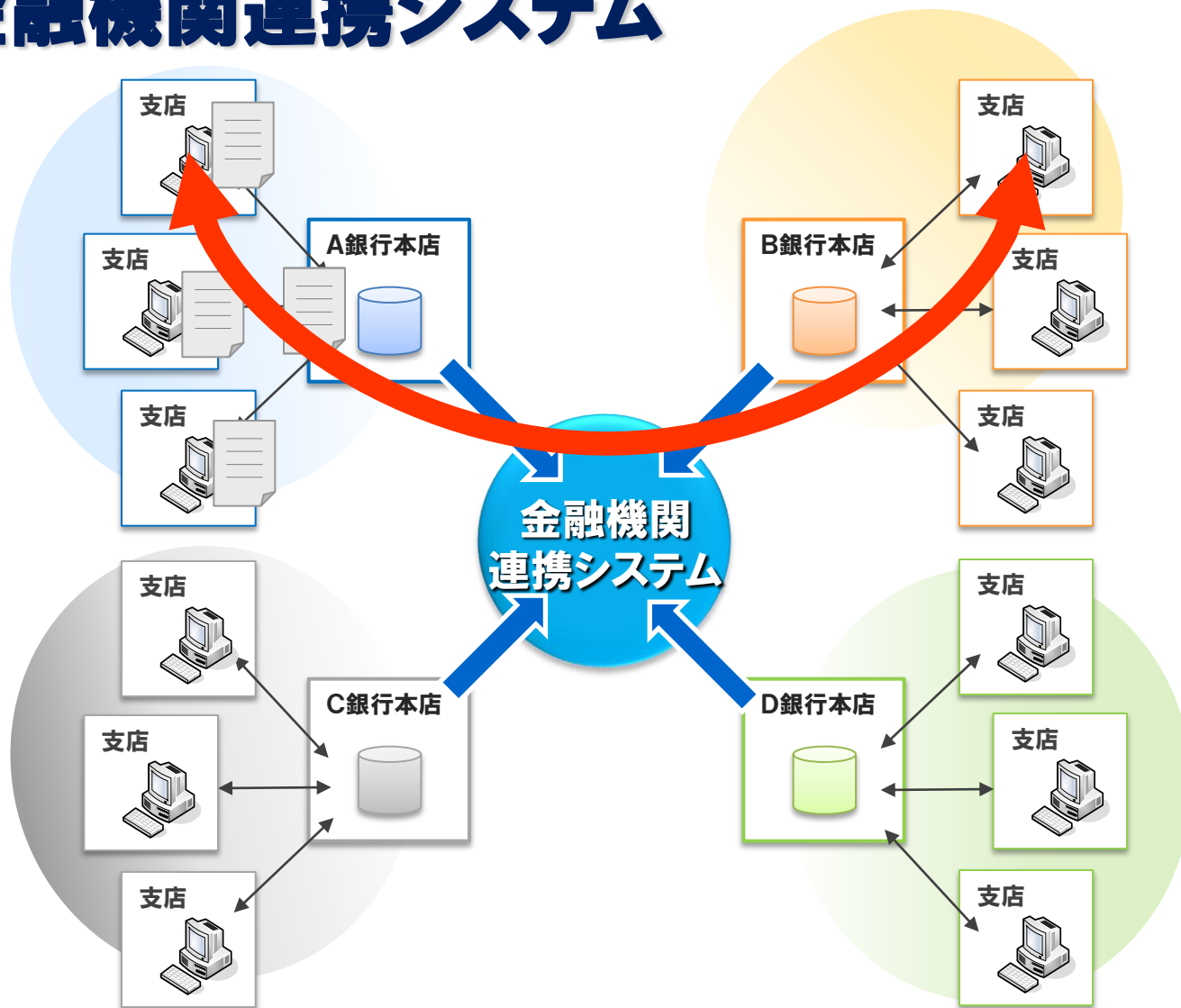


<http://solution.cafis.jp/service/tanmatsu.html>

2. NTTデータのこれまでの取り組み



金融機関連携システム



1 クラウドASP・SaaSの発展のために

2 NTTデータのこれまでの取り組み

3 **クラウドASP・SaaSにおける
NTTデータの取り組み**

4 本日のまとめ

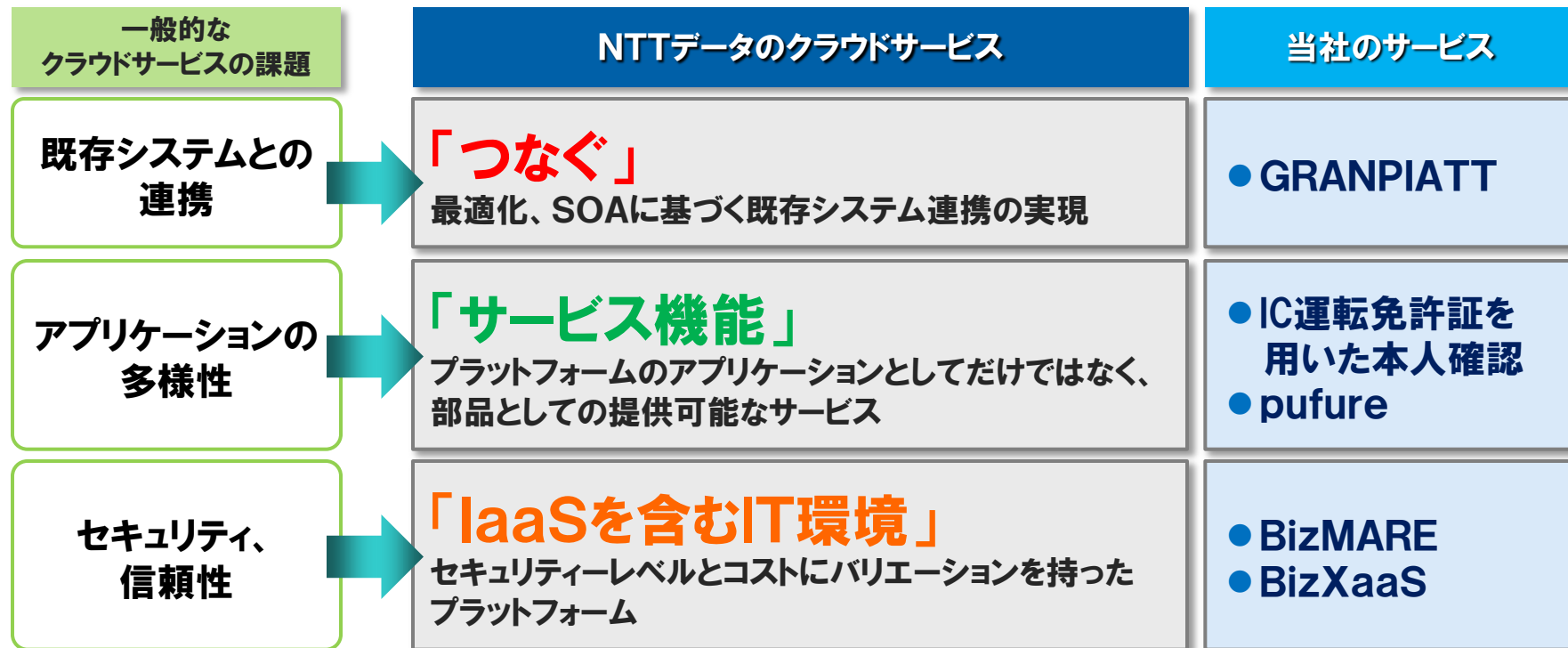
3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

これからの取組み

社会インフラとなる大規模なプラットフォーム構築のノウハウを活かした

クラウドASP・SaaSプラットフォーム

の構築を進めている。



3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「**つなぐ**」ことにより、新たなサービスや利便性向上といった、付加価値が生まれる。

つながることで得られる情報の活用によって生み出すサービス

- 与信管理など

つながるプレイヤーの多様性・連携が生み出すサービス

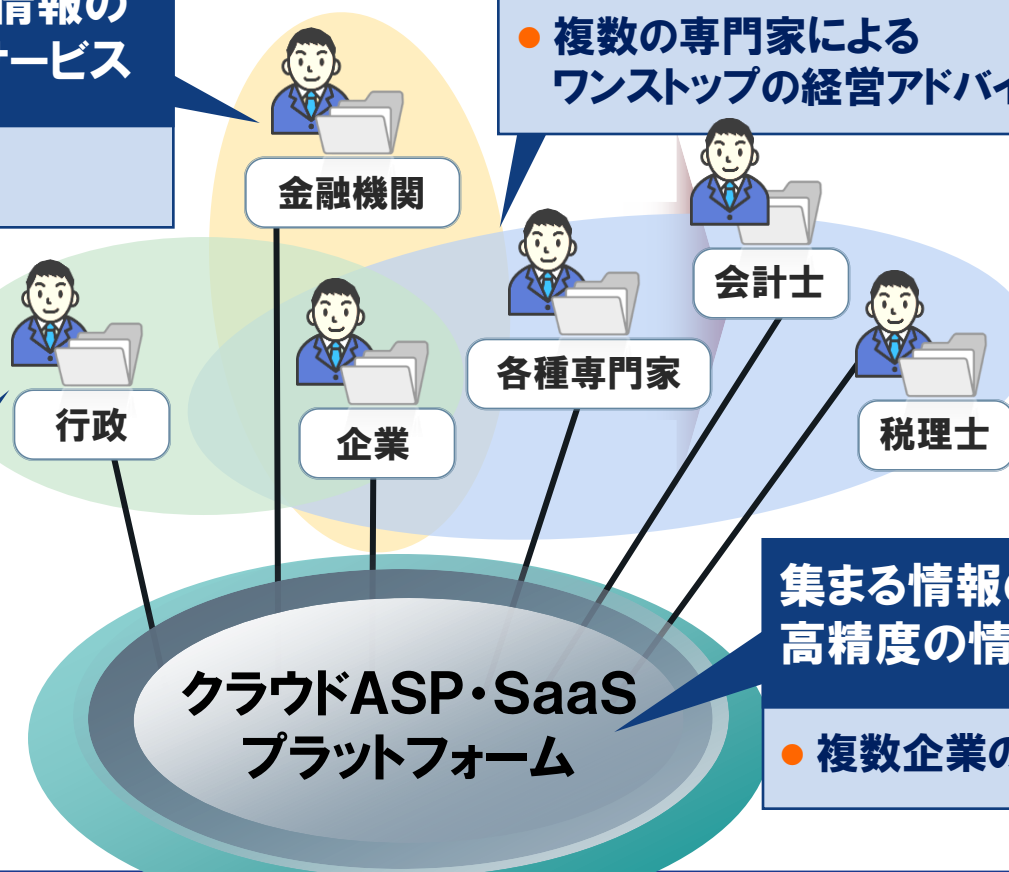
- 複数の専門家によるワンストップの経営アドバイス

各種業務の効率化・ワンストップ化

- 社会保障手続き
- 税関連手続きなど

集まる情報の多さによる高精度の情報分析サービス

- 複数企業の財務分析など



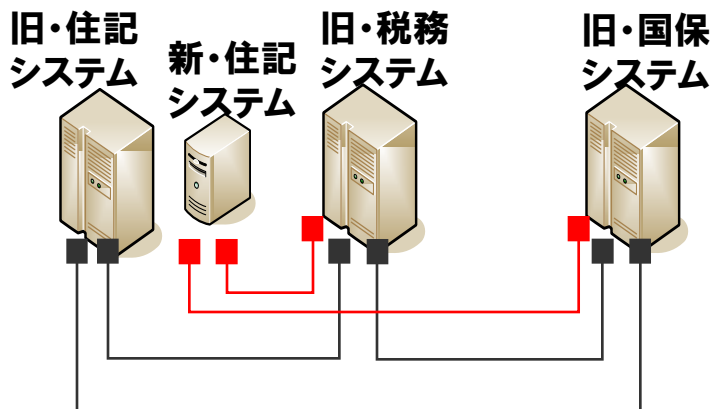
3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「つなぐ」 GRANPIATT®

SOAの考え方に基づいて、既存のシステム資産を活かしつつ業務システム間の柔軟な連携を実現する「情報システム最適化プラットフォーム」

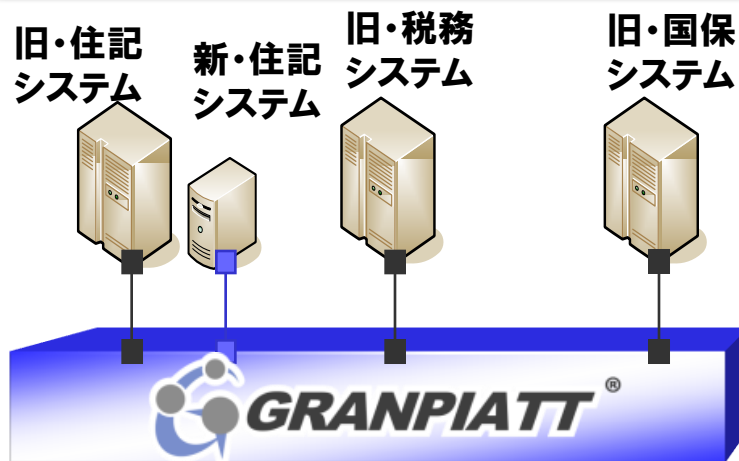
地方公共団体×GRANPIATT

データ連携を個別構築



連携を個別に構築

GRANPIATT®を導入

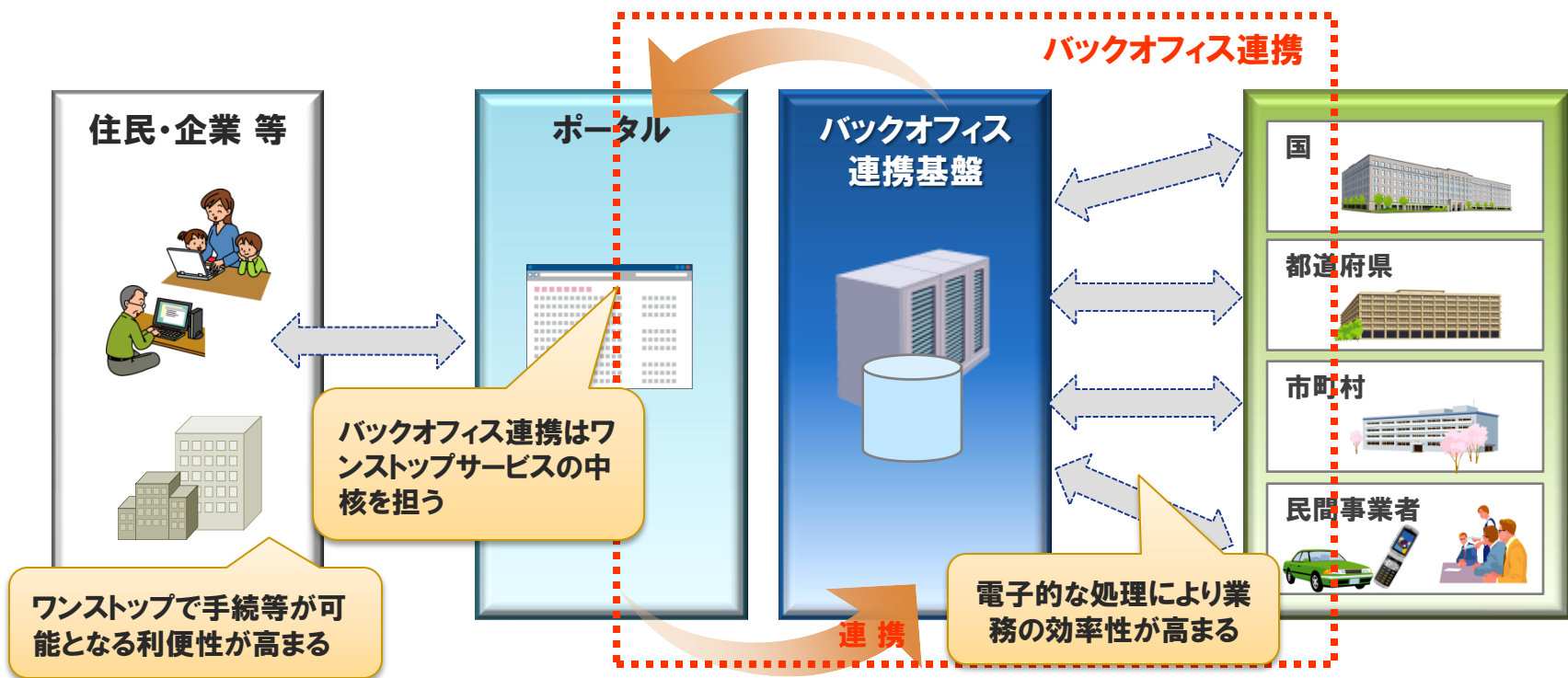


GRANPIATT®を介した連携

3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「つなぐ」 GRANPIATT®

住民サービス(=フロントサービス)の電子化は進みつつあるが、組織がまたがる内部業務(=バックオフィス)の連携や効率化には、あまり着手できていないのが現状
(財)全国地域情報化推進協会(APPLIC)が推進する「地域情報プラットフォーム標準仕様」に準拠

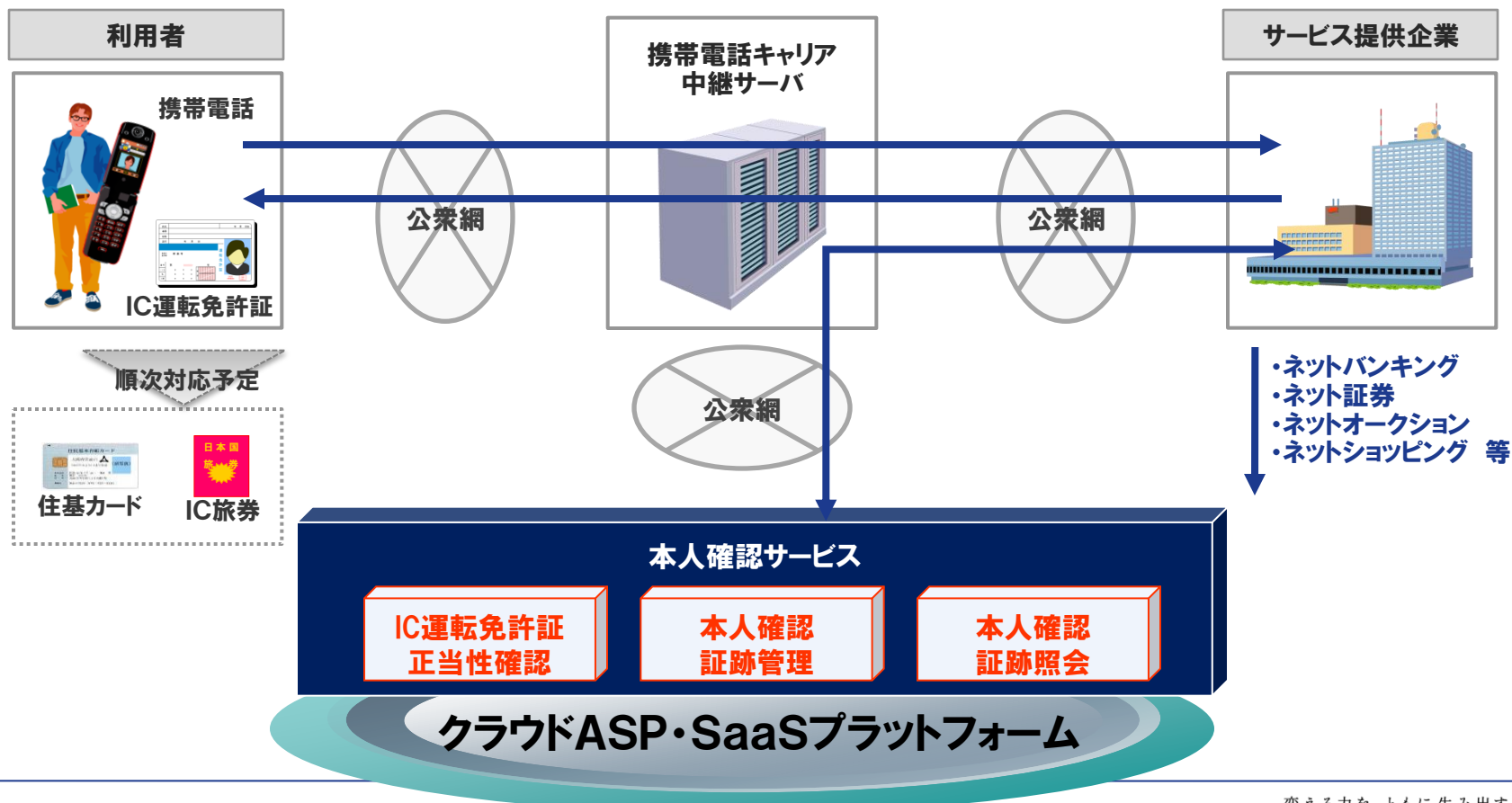


GRANPIATTを用いたバックオフィス連携で、安心安全な情報流通と効率化を実現！

3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「サービス機能」 IC運転免許証を用いた本人確認

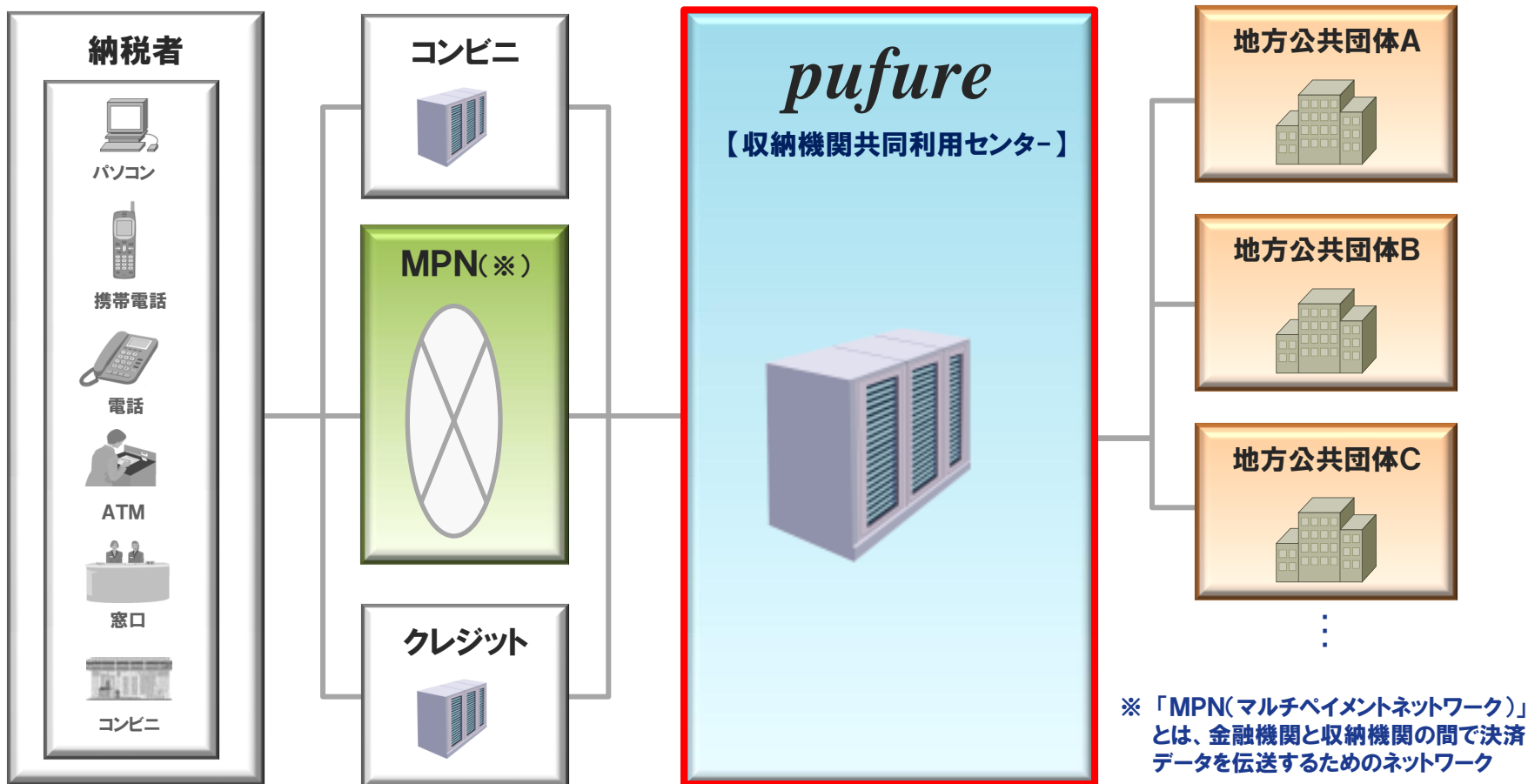
インターネットでの口座開設や会員申し込み時に本人確認書類を郵送することなく、IC運転免許証と携帯電話を利用して信頼性高く本人確認ができるしくみ



3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「サービス機能」 *Pufure*[®] (パフュール)

公金収納のための通信サーバ機能を、地方公共団体に対してASPにて提供するサービス



3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「IaaSを含むIT環境」 BizMARE (ビズマーレ)

<http://bizmare.bizplat.net/>

経営課題を解決に導くノウハウサービス提供のため、中小企業経営者と税理士、ソフトウェア、コンテンツベンダーをつなぎ、中小企業経営者向けに経営に役立つ情報を提供

経営課題の解決に必要なチャンネルが効率的に得られなかった・・・

中小企業経営者

各ベンダや税理士などと個別にチャンネルを持つため非効率

ゼロからのチャンネル開拓は非効率

会計ソフトベンダ

税理士

財務ソフトベンダ

eラーニングソフトベンダ

効率的にチャンネルを得られるBizMAREで経営課題の解決力が向上

様々なチャンネルを1つのサイトを基に持つことができるため効率的

中小企業経営者

提供サービス一例

- 経営ノウハウガイダンス
- 財務診断
- ビジネスパートナー検索
- 税務相談

BizMAREを利用することで様々なチャンネルを容易に獲得することができる

BizMARE
中小企業の経営を応援するサイト

会計ソフトベンダ

eラーニングソフトベンダ

財務ソフトベンダ

税理士

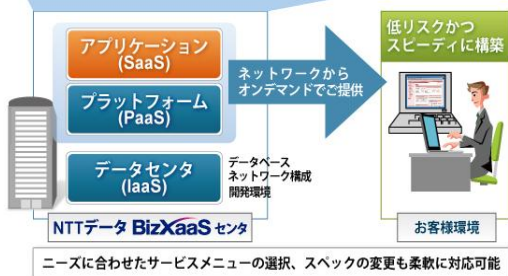
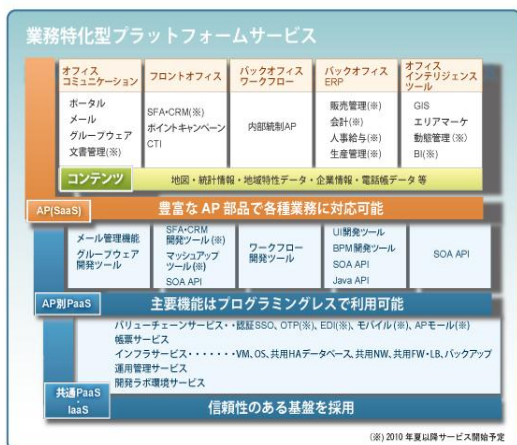
3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

「IaaSを含むIT環境」 BizXaaS

<http://bizxaas.net/>

豊富な業務特化型のアプリケーション(SaaS)と、柔軟なプラットフォームサービス(PaaS)及び安全性の高いデータセンタ(IaaS)で構成。必要な商品を組み合わせることで、すぐに業務でご利用頂くことが可能。

● BizXaaSプラットフォームサービスの構成



● BizXaaSプラットフォームサービスの特徴

Point1

ワンストップで最適なソリューションを提供

- * 各種アプリケーションやプラットフォーム機能などエンタープライズユースを意識した豊富なラインナップを展開。1ソリューション、少数IDからでも導入可能。
- * 複数のソリューションをワンストップでご利用頂ける、SSO(Single Sign On: シングルサインオン)機能やEDI(Electronic Data Interchange: 電子データ交換)機能

Point2

短期間かつ低コストで柔軟な導入可能

- * アプリケーションは汎用的な機能をSaaS型でご用意
- * お客様個別のご要件に対してカスタマイズ等もしやすい環境が整っている。

Point3

企業ユースに限定し国内のデータセンタで安全性を確保

- * 日本国内にある当社データセンタで運用。
- * 各種安全基準をクリアし、高度なセキュリティと万全な態勢で24時間365日の安心安全の運用を行っている。
- * OS、DB、VM等について、信頼性の高い商品を使って安全性、品質の高いサービスをご提案。

3. クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

NTTデータのクラウドASP・SaaSプラットフォームは・・・

● 「つなぐ」

+

● 「サービス機能」

+

● 「IaaSを含むIT環境」

新たな付加価値とサービスを生む、
ビジネスイノベーション



- 1 クラウドASP・SaaSの発展のために
- 2 NTTデータのこれまでの取り組み
- 3 クラウドASP・SaaSにおけるNTTデータの取り組み

4

本日のまとめ

本日のまとめ

● 現在のクラウドASP・SaaSは、業界内レベルの連携形態が主流だが、これからは業界を跨って「**つなぐ**」ことで、「**新たな価値**」が生まれる。

● NTTデータは、多数の「**つなぐ**」プラットフォームを構築し、社会インフラを支えている。

● サービスハブであるクラウドASP・SaaSプラットフォームに「**つなぐ**」ことで、利用者には効率性と利便性、提供者にはコスト削減、新たなビジネスチャンスを創出

● 「**つなぐ**」+「**サービス機能**」+「**IaaSを含むIT環境**」で、新たなコラボレーションとビジネスイノベーションを実現

本日のまとめ

NTTデータは、

クラウドASP・SaaSプラットフォームを通じて、
さまざまなプレイヤーをつなぎ、

- ◆ 新たなサービス
- ◆ コラボレーション
- ◆ 付加価値を生むビジネスイノベーション

を実現します。

ご清聴ありがとうございました。

変える力を、ともに生み出す。

NTT DATAグループ

